

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	健康マイルカード事業（国保対象）			事業開始年度	令和 3年度		
担当課	市民生活部 市民課		担当者	小堀 梨絵			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	健康づくりの取組みに対し、インセンティブ（報奨）を提供することにより、健康的な生活習慣を定着させ、市民の健康寿命の延伸と医療費削減を目的とする。						
事業の概要	対象者の健康づくりの取組みに対しインセンティブを提供することで、行動変容を実現する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		763		338	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	健康的な生活習慣を継続している人数	人		52	70	70
	成果	健康づくり事業に参加している人数	人		86	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	指標2において目標値70名に対し実績は86名だった。また、生活リズム改善プログラム利用者と食コンディショニングワークブックは、健診結果等でハイリスクの方に実施したが、継続実施を行うことで体調の改善等がみられていた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	糖尿病重症化予防事業			事業開始年度	令和元年度		
担当課	市民生活部 市民課		担当者	小堀 梨絵			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	医療費の抑制						
事業の概要	栃木県糖尿病重症化予防事業プログラムに沿って行う事業						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3		1,007		2,311	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
		保健指導実施者数	人	1	10	18	18
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	目標値5人に対し10人を達成することができ、対象者の生活習慣や運動習慣に行動変容があったことで、血圧・血糖値等の数値改善を図ることができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	高齢者保健介護一体的実施事業			事業開始年度	令和 2年度		
担当課	市民生活部 市民課		担当者	櫻井 敦子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	地域の健康課題の分析や対象者を把握し、生活習慣病対策など高齢者保健事業と介護予防事業を一体的に実施						
事業の概要	地域の健康課題の分析や対象者を把握し、生活習慣病対策など高齢者保健事業と介護予防事業を一体的に実施						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	2,114		2,131		3,792	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	支援実施割合	%	93.4	100	95	95
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	対象者抽出基準に該当した者のうち、対象者とした者全員に対し支援を実施した。地域の通いの場等を活用した個別の支援については、計画上の参加見込者数以上の参加があった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	成人各種健康相談事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。						
事業の概要	健診結果相談・栄養相談・健康相談等を実施し、保健師、管理栄養士等が指導及び助言を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	628		997		3,566	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	健康相談を受けた人数	人	271	456	600	600
			%				
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症対策のため、健康相談事業内容を縮小。日時完全予約制として実施したため、健診結果相談会は対象者を絞り実施した。栄養相談は継続。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市食生活改善推進団体連絡協議会補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	食生活改善推進員協議会による地区組織活動の費用の一部を負担し、地域の健康づくりに寄与する。						
事業の概要	市民の健康意識の向上と推進を図るため、さくら市食生活改善推進員協議会の事業を健康増進事業と認定して事業経費として43,000円の補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	43		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	会員の年間活動延参加人数	人	19	16	0	0
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	会員の高齢化に伴い年々会員が減少している。また、コロナ感染症対策のため対面での事業をすることができなかった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	健康まつり開催事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	和氣 貴子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	市民が心身共に健康でいきいきと生活できるようにするため、健康づくりのための様々な取組を広く周知し、健康づくりに対する意識の向上を図ることを目的に事業を実施する。						
事業の概要	ゆめさくら博開催時の参加団体として10月に実施。健康相談や健康づくり団体の活動紹介など、健康に関する正しい知識の普及と健康づくりの意識の向上を目的に開催する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	324		336		511	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	健診、相談、体験コーナー等の来場参加数	人	75	79	120	120
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、健康情報提供、健康相談、歯科相談、栄養相談、骨密度測定コーナー等は実施せず、20代のワンコイン健診のみ実施した。新型コロナウイルス収束後は、健康づくり推進イベントとして再開できるよう準備していく。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	生活習慣病予防事業			事業開始年度	平成24年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	生活習慣病予防や健康に関する正しい知識の普及啓発を図り、自らの健康は自らが守るという認識と自覚を高め、健康の保持増進を資する。						
事業の概要	広報等を活用し、生活習慣病予防や健康に関する正しい知識の普及啓発およびコロナ禍でも取り組める身体活動の推進を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	135		110		129	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	日常生活の中で身体活動を実施していない人の割合の減少	%	48.6	51.6	40	40
	成果	運動を実施していない人の割合の減少	%	58.5	60.8	55	55
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症対策のため、外出自粛等により運動機会の減少が考えられる。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	健康マイルカード事業			事業開始年度	令和 3年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	01	生活習慣の改善				
事業の目的	健康づくりの取組みに対しインセンティブ（報奨）を提供することにより、健康的な生活習慣を定着させ、市民の健康寿命の延伸と医療費削減を目的とする						
事業の概要	対象者の健康づくりの取組みに対しインセンティブを提供することで、行動変容を実現させる						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		1,563		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	健康的な生活習慣を継続している人数	人		1,905	3,000	3,000
	成果	健康づくり事業に参加している人数	人(延)		7,146	9,000	9,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	歩数計アプリの利用者は前年度の約4倍である。生活リズム改善プログラムアプリと食コンディショニングワークブックは、健診結果等でハイリスクの方に実施したが、継続実施を行うことで体調の改善等がみられていた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	人間ドック補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	市民生活部 市民課		担当者	小堀 梨絵			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	疾病の早期発見により医療費抑制を図る。						
事業の概要	人間ドック・脳ドックを受診した30歳以上の被保険者の受診者に20,000円の補助を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6,920		7,420		8,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	人間ドック補助件数	件	346	371	400	400
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	令和3年度の目標400名に対し実績371名					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	後期高齢者健診事業費			事業開始年度	平成20年度		
担当課	市民生活部 市民課		担当者	櫻井 敦子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	生活習慣病の早期発見により、後期高齢者の健康の保持増進を図り、生活の質を確保し、安心して安定した生活の向上に資する。						
事業の概要	保健センターでの集団健診、指定医療機関での人間ドック及び市内医療機関での個別健診の実施						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	9,499		10,079		14,381	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	受診率（市町村報告受診率）	%	23.98	26.94	30	30
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	令和3年度目標値 30%に対し26.94%					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	特定健康診査等事業費			事業開始年度	平成20年度		
担当課	市民生活部 市民課		担当者	小堀 梨絵			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	特定健康診査により生活習慣病（メタボリック症候群）の抑制を図る。						
事業の概要	40歳以上の者に対して特定健康診査及び特定保健指導を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	13,348		21,058		27,799	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	受診率	%	36.1	46	60	60
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	目標値が高く、達成するのは難しい状況である。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	受診行動適正化指導事業			事業開始年度	令和 3年度		
担当課	市民生活部 市民課		担当者	小堀 梨絵			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	重複・頻回受診者、重複服薬者数の減少						
事業の概要	レセプトから医療機関への過度な受診が確認できる対象者、または重複して服薬している対象者を特定し、指導する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		453		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
		保健指導実施者数	人		6	10	10
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	目標値15人に対し実績は6人だった。また、指導完了者の受診行動適正化の割合は50%を目標にしていたが、25%に留まった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	各種がん検診事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	がん検診を受診することで、がんの早期発見・早期治療につなげ、がんによる死亡者の減少につなげる。						
事業の概要	厚生労働省のがん検診の指針に基づき、各種がん検診を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	50,678		59,426		75,431	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	がん検診精密検査の受診率（胃+肺+大腸+子宮+乳、前々年度）	%	81.6	76.8	100	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	肺がん検診精検未受診者が多い。要精密検査者の受診状況を把握する必要がある。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	がん検診推進事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	がん検診（乳がん・子宮頸がん）の受診率の向上を推進することにより、がんの早期発見、早期治療により、がんによる死亡者数を減少させる。						
事業の概要	国の基準による子宮がん検診（20歳）・乳がん検診（40歳）の初年度の受診対象者に無料クーポン券を配布するほか、受診率向上に効果のある個別受診勧奨を実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	861		1,414		1,461	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	クーポン券を利用した人数（子宮がん・乳がん）	人	81	152	120	120
	成果	クーポン利用者のうち精密検査の受診率	%	57	50	100	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	受診勧奨は例年どおり実施しているが、新型コロナウイルス感染症流行により、医療機関受診に消極的になっている可能性が高い。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	結核検診事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	結核の発生を予防し、及びその蔓延の防止を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図る。						
事業の概要	65歳以上の市民を対象として、年1回の結核に係る定期の健康診断を行う。高齢者への配慮として、地区の公民館等身近な会場でのバス検診を実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,261		2,367		853	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	65歳以上の肺がん・結核検診の延べ受診者数	人	3,493	4,506	4,000	4,000
	成果						
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	肺がん検診未受診者に対し結核検診の個別勧奨通知を行ったことにより受診者数が増えた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	健康診査事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	高根幸江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	02	病気の早期発見・早期治療の推進				
事業の目的	生活習慣病予防のため、正しい知識の普及啓発と疾病の早期発見に努める。						
事業の概要	30代からの生活習慣病予防、歯周病検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診、胃がんリスク検診など幅広く健康診査を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	12,215		14,809		18,071	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	30代への保健指導実施割合	%	0	85.8	90	90
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	健診受診者に対し、結果説明会を新型コロナウイルス感染対策を行いながら実施した。日時指定で行ったため、面談ではなく電話での指導になった方もいる。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地域自殺対策強化事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	畑山香織			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	03	心の健康づくりの推進				
事業の目的	「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指して、自殺対策を総合的に推進し、自殺者の減少を図ることを目的とする。						
事業の概要	自殺対策の普及啓発活動として、市民を対象とした講演や啓発用品の配布を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	223		321		535	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	自殺者数	人	16	10	8	6
	活動	ゲートキーパー養成研修受講者数	人	70	433	450	450
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	ゲートキーパー養成研修及び自殺予防対策に係る研修会等を通じて、市民に自殺対策の知識が浸透し、自殺者数は減少となった。しかし、依然として全国的にコロナ禍での自殺者数は高い状態で推移しており、さくら市においても更なる啓発活動が必要である。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	新型インフルエンザ等対策事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	長島 雅人			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	04	感染症予防対策の充実				
事業の目的	新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の発生に備え市民を感染から守る。						
事業の概要	新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の発生に備え、対策に必要な感染症防護対策キットや感染防止用マスク等を購入し備蓄する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	5,992		2,282		2,321	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	防護服備蓄数	セット	599	700	700	700
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和2年度は急激な新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、防護服等品薄状態に陥ったため、一部達成できなかったが、令和3年度は定期的に購入を繰り返し、令和4年7月現在、789着を備蓄している。その他の感染症対策物品も必要数を確保している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	任意予防接種事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	斎藤 利江			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	04	感染症予防対策の充実				
事業の目的	予防接種法に基づく「定期接種」以外で日本で受けられる予防接種と、定期接種の期間外に受ける任意予防接種費用を助成しり患者を減らす。						
事業の概要	子どものインフルエンザ助成は、生後6か月から中学3年を対象に実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	36,588		13,434		14,992	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	子どものインフルエンザ延接種児数	人	6,329	4,816	5,600	5,600
				290	-	-	
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	インフルエンザ予防接種のワクチンが全国的に不足傾向となり、接種者数は減少した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	公的病院等支援事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	和氣 貴子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	05	地域医療体制の整備				
事業の目的	救急医療の確保及び地域医療の充実を図る。						
事業の概要	救急医療などの不採算医療における機能維持を図ることが多大な困難を極める中で、当該医療を担う公的病院等に対し、地域医療体制の維持を図るため、交付金を交付。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	13,000		13,000		13,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	救急患者の受け入れ延べ人数	人	1,845	1,880	1,900	1,900
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	救急医療の確保等を目的としているため、対象病院の救急患者受け入れ延べ数を指標とした。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家保健センター管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	和氣 貴子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市民の総合的な保健衛生の向上及び健康づくりの推進に寄与する。						
事業の概要	健康相談、保健指導及び健康診査等の地域保健に関し必要な事業を行うための施設の使用と、センター施設の良好な維持管理のため、消防、空調等保守業務、修繕等を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	5,473		9,705		4,845	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	センター稼働率	%	65	77.3	80	80
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	保健センター来所者が不都合なく利用できるように維持管理に努めたことにより地域保健事業の充実し、心身の健康づくりの推進につながっている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	壹連川保健センター管理事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	和氣 貴子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	04	健康・予防・医療体制の充実と健康づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	市民の総合的な保健衛生の向上及び健康づくりの推進に寄与する。						
事業の概要	健康相談、保健指導及び健康診査等の地域保健に関し必要な事業を行うための施設の使用と、センター施設の良好な維持管理のため、消防、空調等保守業務、修繕等を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度	3年度	4年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	3,340	3,334	3,529			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度実績	3年度実績	4年度計画	5年度計画
	成果	センター稼働率	%	44.9	43.4	45	45
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	保健センター来所者が不都合なく利用できるように維持管理に努めたことにより地域保健事業が充実し、心身の健康づくりにつながっている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		